



ともにほほえむ

ほほえみ

清田昌子様(75歳)「若い人に混じり仕事をさせてもらっているのが元気の源！」1日1日を丁寧に生きる、愛にあふれた女性です。

第23回 関東・甲信越ブロック研修会に向けて

公益社団法人神奈川県介護福祉士会 会長 野上 薫子

「一億総活躍社会」を目指して、昨年9月新3本の矢が発表された。第3の矢は介護離職ゼロ（介護と仕事を両立させ介護の為に離職する人を0にする）である。その為には大切な家族を安心して任せられる良質な介護サービスが、必要な時に必要なだけ利用できる仕組みが整備されなければならない。

近年、介護現場は慢性的な介護職員不足が進行し、国を挙げて様々な施策が検討され実施されて来たが、ますます深刻な様相を呈している。

「2025年に向けた介護人材の確保～量と質の好循環の確立に向けて～」（平成27年2月25日社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会報告書）では、介護人材・介護業界の目指すべき姿として、介護福祉士を上方（質）に位置づけた富士山型への転換が示されているが、山が高くなれば裾野（量）は拡がらない。今までにはイメージアップ等、裾野を拡げる施策が中心であったように思われる。今でも「介護は誰にでも出来るもの」との安易な見方が散見されるが、「介護は生きている一人ひとりの人間に直接

係わる」仕事であり、しかも何らかの手助けがないと日常生活を送ることが出来ない人々の尊厳を守る仕事である。人間に対する深い洞察力に基づいた専門的な知識・技術を身につけて初めて出来る仕事であり、他の専門職以上に、やり甲斐のある魅力ある仕事である。今こそ国家資格である介護福祉士に光を当て、社会的にも皆の憧れる資格にする方策（山を高くする）を講ずることが、緊喫の課題ではなかろうか。

本年3月31日に「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」を含む「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立、公布された。その中で、再再延期されてきた「平成19年改正介護福祉士法の資格取得の一元化」について、介護福祉士養成施設卒業者は、平成29年4月1日より介護福祉士試験受験資格者となるが、特例として、平成29年度から平成33年度までの介護福祉士養成施設卒業者は卒業翌年度の4月1日から5年間は介護福祉士となる資格を有し、その間介護福祉士試験に合格をしなければ、介護福祉士登録は無効となる。但し継続して5年間、介護等の業務に従事した場合は、

引き続き介護福祉士資格を有することとなった。他の専門職に比しても資格取得の一元化の延期は残念である。

本年は11月12日（土）に「ホテルメルパルク横浜」（横浜市中区山下町16）に於いて、（公社）日本介護福祉士会・（公社）神奈川県介護福祉士会主催「第23回 関東・甲信越ブロック研修会」を開催する。1都9県の介護福祉士が結集、『「介護福祉士としての専門性」～自ら考え、皆で深め、社会に発信!!～』をテーマに、分科会は（A）介護福祉士の技術力（①介護技術、②コミュニケーション、③介護過程の展開）（B）介護福祉士のサポート力（④後輩の育成、⑤本人・家族へのアプローチ、⑥認知症の人のケア）（C）介護福祉士のマネジメント力（⑦地域連携、⑧リーダーシップ、⑨組織運営）の9グループに分かれて、全員参加のディスカッション方式で介護福祉士としての自覚と責任を再確認する。

自信を持って介護福祉士の専門性を社会に発信するエネルギーあふれる、元気で、楽しく、賑やかな研修会としたい。皆さまの積極的な参加と協力をお願いします。

平成 28 年度 定時社員総会・公開講座のお知らせ

*定時社員総会

日 時 平成28年6月11日(土)
13:00~14:30 (受付は12:30 から)
場 所 ウィリング横浜
(京浜急行・市営地下鉄上大岡駅下車)
内 容 平成 27 年度事業報告 (案)
平成 27 年度収支決算 (案)
監査報告
役員改選

*公 開 講 座

日 時 平成28年6月11日(土)
15:00~16:30 (受付は14:40 から)
場 所 ウィリング横浜
(京浜急行・市営地下鉄上大岡駅下車)
テ マ 「公益法人の役割と運営」
講 師 内閣府公益認定等委員会
初代常勤委員(委員長代理) 佐竹 正幸氏

平成 28 年度年間事業計画概要

(平成 28 年 4 月現在)

5 月	○	介護技術研修会	(5/17)
6 月	○	実務者研修教員養成講習会	(6/1、15、29)
	☆	定時社員総会	(6/11)
	○	公開講座	(6/11)
	○	ファーストステップ研修会領域 I	(6/17)
7 月	○	実務者研修教員養成講習会	(7/6、20)
	○	ファーストステップ研修会領域 I	(7/3、19)
	○	介護技術研修会	(7/12)
	☆	ソーシャルワーカーデー 2016	(7/23)
	○	介護支援専門員受験準備講習会	(7/24)
8 月	○	実務者研修教員養成講習会	(8/3、17、31)
	○	ファーストステップ研修会領域 I	(8/5、26)
	○	介護福祉士実習指導者講習会	(8/6、8、10、12)
	○	介護支援専門員受験準備講習会	(8/6、13)
9 月	○	介護福祉士初任者研修会	(9/2、3、6)
	○	介護支援専門員模擬試験	(9/3)
	○	介護技術研修会	(9/13)
	○	ファーストステップ研修会領域 I	(9/17)
10 月	○	介護福祉士国家試験準備講習会	(10/15、24)
	○	ファーストステップ研修会領域 II	(10 月~ 11 月)
11 月	☆	「介護の日」記念行事	(11/3)
	○	介護福祉士国家試験準備講習会	(11/3、11)
	○	関東・甲信越ブロック研修会	(神奈川県 11/12)
	○	日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会	(大分県 11/25、26)
	○	サービス提供責任者研修会	(11/未定)
	○	ファーストステップ研修会 III	(11 月~ 3 月)
12 月	○	介護福祉士国家試験模擬試験	(12/4)
	○	介護技術研修会	(12/13)
2 月	○	介護技術研修会	(2/14)

○=研修会、☆=行事

機関紙発行= 4 月、8 月、12 月 事業案内発送= 偶数月下旬

※支部活動(介護相談、研修会 etc.) 支部ごとに偶数月に案内

今年度は
神奈川県が
担当県です

第23回 関東・甲信越ブロック研修会に 参加しよう!

おもてなし係
大募集!

- 日 時** 2016年11月12日(土) 10:00~16:30
- 場 所** ホテル メルパルク横浜 横浜市中区山下町16
- テ マ** 「介護福祉士としての専門性」
～自ら考え、皆で深め、社会に発信!!～
- 定 員** 350名
- 参加費** 会員3,000円 一般5,000円 学生1,000円

関東・甲信越ブロック10都県より集う
参加者のみなさんを、おもてなしの心
で迎えてくださる当日の運営スタッフ
を大募集します! 様々な役割を通して、
あなたの笑顔とおもてなしの心で、研修
会をより実り豊かなものにしませんか。

お申し込みは事務局まで
(045-319-6687)

平成28年 収支予算書内訳 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:円)

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				経 常 費 用			
1. 経 常 増 減 の 部				(1) 事 業 費	21,110,000	2,120,000	23,230,000
経 常 収 益				① 臨 時 雇 賃 金	2,700,000	300,000	3,000,000
(1) 基 本 財 産 運 用 益	1,000		1,000	② 福 利 厚 生 費	100,000	30,000	130,000
基本財産受取利息	1,000		1,000	③ 会 議 費	450,000	100,000	550,000
(2) 受 取 入 会 金	100,000	100,000	200,000	④ 旅 費 交 通 費	3,000,000	150,000	3,150,000
受 取 入 会 金	100,000	100,000	200,000	⑤ 通 信 運 搬 費	1,500,000	50,000	1,550,000
(3) 受 取 会 費	2,752,500	2,752,500	5,505,000	⑥ 減 價 償 却 費	0	0	0
正会員受取会費	2,750,000	2,750,000	5,500,000	⑦ 消 耗 什 器 備 品 費	100,000	0	100,000
賛助会員受取会費	2,500	2,500	5,000	⑧ 消 耗 品 費	300,000	10,000	310,000
(4) 事 業 収 益	17,400,000		17,400,000	⑨ 印 刷 製 本 費	1,250,000	50,000	1,300,000
① 研 修 事 業 収 益	1,000,000		1,000,000	⑩ 光 熱 水 料 費	360,000	30,000	390,000
② 資 格 取 得 関 係 事 業 収 益	6,000,000		6,000,000	⑪ 貸 借 料	5,000,000	250,000	5,250,000
③ 相 談 助 言 事 業 収 益	0		0	⑫ 諸 謝 金	4,500,000	900,000	5,400,000
④ 広 報 事 業 収 益	0		0	⑬ 租 税 公 課	300,000	100,000	400,000
⑤ 地 域 福 祉 事 業 収 益	200,000		200,000	⑭ 涉 外 費	50,000	50,000	100,000
⑥ 調 査 ・ 研 究 事 業 収 益	0		0	⑮ 図 書 ・ 教 材 費	800,000	0	800,000
⑦ 受 験 対 策 事 業 収 益	1,800,000		1,800,000	⑯ 支 払 負 担 料	500,000	0	500,000
⑧ 実 務 者 研 修 事 業 収 益	600,000		600,000	⑰ 支 払 手 数 料	100,000	90,000	190,000
⑨ 受 託 事 業 収 益	1,800,000		1,800,000	⑱ 雜 費	100,000	10,000	110,000
⑩ 第 三 者 評 価 事 業 収 益	3,500,000		3,500,000	経 常 費 用 計	21,110,000	2,120,000	23,230,000
⑪ 関 東・甲 信 越 ブ ロ ッ ク 研 修 会 収 益	2,500,000		2,500,000	当 期 経 常 増 減 額	△ 6,500	732,500	726,000
(5) 受 取 补 助 金 等	0		0				
受 取 地 方 公 共 团 体 补 助 金	0		0				
受 取 民 間 助 成 金	0		0				
(6) 雜 収 益	850,000	0	850,000				
① 受 取 利 息	0		0				
② 雜 収 益	250,000		250,000				
③ 日 本 介 護 福 祉 士 会 封 筒 代 他	600,000		600,000				
経 常 収 益 計	21,103,500	2,852,500	23,956,000				

お悔やみ

当会理事三ヶ島靖子様が、平成28年4月10日に急逝されました。

三ヶ島様には、平成10年より今まで、18年間神奈川県介護福祉士会の理事として、なかんずく、平成12年から平成21年までの10年間は副会長として、公益社団法人神奈川県介護福祉士会の礎を築いて頂きました。

心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

**平成28・29年度
代議員のご紹介**

平成28・29年度の代議員が決定しました。定数42名に対し35名の代議員立候補がありました。35名全員が立候補条件を満たしており、無投票当選で代議員となりました。

氏名		氏名		氏名		氏名	
横浜北	増田耕作	川崎	久保信子	湘南東	石橋良子	湘南西	安西晴美
	長澤雅代		須山成美		増田和子		露木千代子
	森澤裕香	横須賀・三浦	栗田みゆき		岸本幸子	県西	吉田景
	大倉順子		花沢京美		小清水純一		中野信子
	山口里香		松下廣人		木村由紀		佐藤美紀
	樽見絹代		前川和子		小澤由美子		中條洋
横浜南	田川和子	県央	中村雪枝	湘南西	渡邊みどり	相模原	
	林信子		松井俊幸				
川崎	手塚宏美		本多勝彦				代議員選挙管理委員会 委員
	中平禮子		猪股真由美				黒坂条子(横浜南支部) 浜田優子(横須賀・三浦支部)
	藤井慶子		平野佑子				水野晴恵(湘南東支部) 高橋本子(県西支部) ◎中嶋春子(相模原支部) ◎は実行委員長

義援金をお届けしました

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災発災より5年が経過した本年、「疑似避難所体験セミナー」を神奈川県介護福祉士会研修センターに於いて、3月8日に開催しました。このセミナーは岡田史新潟医療福祉大学教授(前新潟県介護福祉士会会长)の発案で、本会主催、3団体(新潟医療福祉大学・宮城県介護福祉士会・新潟地域福祉協会)の協力により実現しました。参加者は24名。その折、参加者に被災地への義援金をお願いしましたところ、快く応じて下さり義援金は12,500円となりました。災害食等教材費、講師料、物品搬入、会場設定等の経費はすべて無償協力で、当日の受講料収入60,000円を含め、宮城県東松島市(大変被害の大きかった)に贈呈することになりました。零石宮城県介護福祉士会会长がその旨担当課長に申し出たところ、3月28日に市長が自ら立ち会いたいとのことで、今回のセミナー関係者が揃って訪問し、阿部秀保東松島市長に直接贈呈致しました。



左より阿部東松島市長、野上神奈川県介護福祉士会会长、岡田新潟医療福祉大学教授、池野(有)まごの代表取締役、零石宮城県介護福祉士会会长



ほほえみに掲載するイラストを募集します。
テーマは何でも構いません。
手書きでもCGでもOKです。
ご応募、お待ちしております。

会員募集!

介護福祉士有資格者の
みなさんをお誘いください。

□本会は…

専門職業人としての社会的地位
及び資質の向上と県民の介護福祉
の増進に努めます。

□会員になると…

各種研修会に会員価格で優先的
に受講が可能です。介護技術や介
護福祉の最新情報を提供します。

□会員…

●正会員
入会金 2,000円
年会費 5,000円

●賛助会員
個人年会費 5,000円
団体年会費 30,000円

○正会員の方は同時に日本介護福
祉士会へご入会下さい。

○日本介護福祉士会生涯研修制度
の認証が受けられます。

○福利厚生各種特典があります。

支部活動紹介

屏風ヶ浦地域ケアプラザとの協働事業と認知症介護劇「みなみ座」

横浜南支部 支部長 内田 竹伸



横浜南支部では、一般市民に向けて「生活や介護のお役に立てる講座」を開催しようと、屏風ヶ浦地域ケアプラザと協働して、介護教室の中で「認知症介護劇」や「家庭で出来る基礎介護技術講習会」「転倒予防体操」「料理教室」などを実施しました。

実際に介護を行っている方が、何に困っているのか、地域の中で少しでも安心安全に生活するには何を必要としているのかを把握し、「自分だけが大変！」と思っている心の負担が少しでも解放出来る場面を持てるよう心掛けました。

参加者からは、「認知症や介護の方法など、全く知らないことに気付いたことで、気持ちが楽になった」「専門家に相談しながら介護をしていくと何かヒントがあると思った」などの感想があり、認知症のご主人と一緒に参加した方からは「主人がこんなに歌が歌えるとは思わなかった。出来ることがあるんですね」と喜びの声も聞かれました。みなさん、講座に来た時の重い表情が、帰るときは柔らかな優しい表情になっているのが印象的でした。

来年度以降は、認知症介護劇の精度を高め、認知症についてや、認知症の人への関わり方の基本をより多くの人に理解を深めてもらえるようにすることが大きな課題です。

地域の集い場ワンデイサロン「藤澤なじみ庵」を開催して

湘南東支部 熊谷 真理子

湘南東支部は、介護のプロとしての学びと、私たちの技術と知識を活かした活動を行っています。生活支援のプロである私たち介護福祉士が、地域の人の役に立つには何ができるのかを考えたとき、まずは地域の人たちに私たちのことを知ってもらい、地域の人たちと顔見知りになり、ちょっとしたことでも相談してもらえ、いざという時には助け合える存在になることが大切だと思いました。

ワンデイサロン「藤澤なじみ庵」は、地域の子供から高齢者まで世代を超えて誰でも気軽に立ち寄れ、交流できる憩いの場の提供を目的に、2015年度に2回開催しました。懐かしい遊びや手作りコーナー、カフェコーナー、介護講座、介護相談コーナーなどを設け、地域の人が三々五々に集い、自由に楽しみました。参加者の中には、「今日はおしゃべりができるけど、いつもは誰とも話さない」という人や、「認知症にならないためにはどうすればいいの?」と質問する人もいて、その人その人の興味に合わせた方法で、介護が必要ない状態でいられるようなアドバイスをしました。

「藤澤なじみ庵」を運営した支部の会員は、みんな「楽しかった！」との感想で、「顔の見える関係」になるまでには、同じ場所で定期的な開催を続けていくことが大事だと考えています。



地域を回る勉強会

湘南西支部 支部長 鈴木 真

2015年度は、湘南西支部の3市2町(平塚市、秦野市、伊勢原市、二宮町、大磯町)をすべて回って勉強会を行いました。支部内の市町は、小田急沿線とJR沿線とに分かれて存在していて、一部の地域だけで勉強会を開催すると、参加者にとって参加のしやすさに偏りが出てしまうのではないかと考えたからです。

初めて勉強会に参加したという会員や、知り合いに紹介されたという一般的の市民の参加もあり、参加者からは「会場の近い勉強会があるのはありがたい」という声が聞かれました。



会場や講師の調整に難しさもありましたが、2015年度に3市2町を回りましたことで仲間が増えました。2016年度も続け、「ともに学び、ともに成長できる」支部を目指して、仲間を増やしていきたいと思います。

地域	日 時	研修会名(研修講師)
秦野	2015.5.27	『お薬のしくみと薬剤師の使い方』 (藤澤哲也氏 薬剤師)
平塚	2015.9.19	『だれでもわかる!リハビリテーションとは??』 (田中一秀氏 理学療法士)
伊勢原	2015.12.2	『自分の体に愛を!介護するなら元気でないと』 (古澤洋子氏 管理栄養士)
二宮	2016.1.15	ケアカフェ(医療者、介護者、福祉者が集まって同じテーマで会話を楽しむ場)
大磯	2016.3.17	みんなで考えよう!これからの介護 (鈴木真 地域担当理事)

平成27年度

研修会に参加して

● 「ファーストステップ研修」(232時間)を受講して

横浜南支部 伊東 毅

介護福祉士の資格を取得してから、介護老人保健施設に勤務し、現在は一般病院のケアワーカーとして勤務をしています。介護職の経歴は10年以上ですが、今回ファーストステップ研修の受講を決めた動機は、認定介護福祉士の資格を取得したいと思ったからです。

ファーストステップ研修は1年に1回の開催なので、一念発起し受講しました。6月から翌年2月までの9か月間は、今までの経験の振り返りと新たな発見や気付きを学べた大変充実したものでした。研修は講義だけでなく演習もあり、講師の先生方からの御指導や同期受講者からの指摘、時にはスキルアップ研修との共同開催で様々な職場より参加された方々からの意見は、今までの視野の狭さに気付き、介護の奥深さを痛感しました。課題は大変でしたが、事前と事後の課題を行う事でより確実な学習となっている事に気付きました。

この研修で学んだ貴重な経験を日頃の業務で活かし、認定介護福祉士の資格を取得できるよう頑張りたいと思います。

「ファーストステップ研修」(232時間)

介護福祉士の資格取得後2年以上実務に従事し、基礎的な業務に習熟した介護福祉士を対象に、的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践、小規模チームのリーダー、初任者等の指導担当として期待できるレベルの知識と技術を学ぶ。認定介護福祉士の受講資格にも位置づけられる。これまでに92名修了。

● 「サービス提供責任者研修会」(36時間)を受講して

川崎支部 坂田 美花

サービス提供責任者となり4年目に、こちらの研修を受講しました。受講動機は新人のサービス提供責任者からの質問に対し、確信をもって答えることが出来ない事があったからです。日々の業務に追われ、振り返ることが出来なかった自分にとって、「なぜ初回加算を付けるのか」「介護計画書の目標設定の仕方は」などに対して「そうだったんだ」と大きくうなずけることばかりでした。特に時間がかかっていた「介護計画書」の作成に関しては、指導して頂いた事を基本に書式を改良した上で、作成しやすく利用者さんに分かりやすいものになりました。先生方のお話しも、現場での経験談が多く興味深く参考になることばかりでした。受講翌日は職場のミーティングで研修内容を伝え、改善点などを話し合う様になりました。日々の業務に流されず、自分を振り返りながら広い視点を持ったサービス提供責任者になりたいと再確認できました。

サービス提供責任者研修会(36時間)

高齢者の在宅生活を支える訪問介護サービスにおいて、要となり介護福祉士に期待されるサービス提供責任者を対象に、効果的なアセスメント、訪問介護計画書の作成、他職種との連携、事業所内での調整、ヘルパーの育成など、業務上必要な知識と技術を学ぶ。これまでに36名修了。

●「実務者研修教員講習会」(50時間)を受講して

湘南西支部 守山 弘子

介護に携わり14年、介護福祉士として長期療養型の医療施設に勤務しています。いずれは教育、指導育成の分野を経験したいと考えていたので、この研修に参加しました。

講義では、教育方法を細かく、実体験を交え、受講生を巻き込んで丁寧に教えていただきました。一つ一つが深く、教えることの難しさや重大さを知り、私なんかに教員なんて務まらないと受講する度に落ち込んでいたことを覚えています。でも、全て終了して振り返ってみると、教員だって同じ人間、はじめから出来る人なんていなくて、授業をする度に色々な生徒と出会い、一時間の授業をする為にその何倍もの時間をかけて調べ準備をする。教員になっても学習しながら成長していくべきで、教員になってからが本当の意味で学びの始まりだと思い、これからも生涯学習だ!と勇気が持てました。同じ教員を目指す仲間としてお互い情報交換をしたり、仕事の悩みを相談したりとメンバー間の交流もあり、その交流は今も続いている。



実務者研修教員講習会(50時間)

平成28年度より、介護福祉士の受験資格に3年以上の実務経験に加えて実務者研修の修了が必要となる。その実務者研修の教員に必要な介護教育方法、介護過程の展開方法、実務者研修の目的と評価方法についての知識と技術を学ぶ。これまでに55名修了。

●日本介護福祉士会 平成27年度リーダー研修

「介護福祉士初任者研修講師養成研修」(18時間)を受講して

横浜北支部 大倉 順子

研修時いつも思うことは「伝えることの難しさ」。授業で単に知識を教えるのではなく、その知識を実際の介護の仕事に活かしてもらうには、また、受講生に「気づき」を持ってもらうためにはどうしたら良いのか、私にはわかりませんでした。研修では、「講義のポイントは何か、必ず押さえておくように」と講師の先生から何度も言わされました。ポイントを押さえた講義をするためには目的を持ち、目標を設定することで、自分が何を教えたいかが明確になり、考えを整理しやすいことを学びました。介護職としても、目的を持ち、目標を設定することは、根拠に基づいた支援をするために大切なことだと良くわかりました。そして、自分の行っている介護を振り返る時や、他者に説明する時にも大切だと感じました。

グループワークでは、待つことの意味や、短時間で意見をまとめることの難しさを感じましたが、同時に話し合いの大切さを痛感し、この学びを日々の仕事に活かしていきたいと思います。

●日本介護福祉士会「認知症専門研修」(講義及び演習140時間)を受講して

県央支部 松井 俊幸

日本介護福祉士会主催の平成27年度認知症専門研修を受講した。認知症の人の生活の理解や共感的理解、高齢者のこころとからだ、介護過程の展開、職員への教育方法、事例検討等と内容は多岐にわたっていた。

認知症のご利用者は本当に様々なケースがあり、なかなかこれといった対応が出来ないでいる。加えて、チームで考え、検討し、対応を実践していくべきことはわかっているながら手をこまねいている。認知症に関する知識等は持っているつもりだが、認知症に関して体系的にもう一度学び直すという動機から受講を希望した。受講してみて、介護過程の展開、職員への教育方法、事例検討の仕方が印象に残っている。

今回の研修は9月から3月までの23日間で終了し、残すは自職場での実践(160時間)かつレポート提出のみである。まずは課題を実践する中で研修で得たものを活かせるよう取り組み、今後は他の職員へ習得したものを伝えたい。

ほほえみ塾
暮らしのヒント

“知りたいこと” “教えること” ためになる情報をお届けします。いつかきっとお役に立てると思います。必見ですよ!
また、皆様方の投稿もお待ちしています。

うめぼしをつくりませんか?

今年も満開のサクラがみられましたね。花見と言えばサクラですが、平安時代以前はウメが主役でした。食べられる実は100種以上、観賞用は300種以上もあります。

○桃栗3年、柿8年、ウメは醉とて18年

ウメの実は生では食べられない。ウメの木はどの果実より早く花を咲かせるが、種から育てると実がなるまで長い時間がかかる。



○桜切るバカ、梅切らぬバカ

サクラは太い枝を切ると傷口から腐って枯れ易い。また、枝先を切ると花も一緒に切り捨てる事になる。ウメは花が咲かない枝がたくさん発生する性質があるので、切り整えると良い花が咲く。

○梅の木を切るときは裸で登れ

実がたくさんなるか、ならないかは剪定による。裸で木に登っても身体に傷がつかないくらいに枝数を減らしたほうが良い。



○梅は食うとも種食うな、中に天神寝てござる

未熟なウメの実を食べると腹痛や下痢を起こす。有害物質は実が未熟なうちは果肉にあり、熟すにつれ種に移り、完熟になれば消滅する。青梅は食べてはいけない。

うめぼしの作り方



- ①梅の軸を爪楊枝でとる
- ②梅を洗ってたっぷりの水に一晩つける
- ③ざるにあげふきんで拭いて水気をきれいにとる
- ④一個ずつ塩をまぶす
- ⑤容器の底に塩を敷き梅をいれていく
- ⑥容器の隙間をうめるため上から押す
- ⑦全部入れ終わったら上から塩で被う
- ⑧おしづたをして重しを乗せゴミが入らないように覆って涼しいところに置く
- ⑨4~5日経つと水が上がってくる(うめず)
- ⑩あかじそは葉の茎を取りきれいに洗う
- ⑪塩をふりよくもむ
- ⑫むらさき色の汁が出たら汁気をしぶる
- ⑬梅を漬けた容器にあかじそを入れる
- ⑭梅雨が明けて天気の良い日にお日様にあてましょう

うめぼしのうた

作詞 芳賀 矢一

二月三月花ざかり
うぐいす鳴いた春の日のたのしい時もゆめのうち
五月六月実がなれば 枝からふるいおとされて
きんじょの町へ持ち出され 何升何合はかり売り
もとよりすっぱいこのからだ しづにつかってからくなり
しそにそまって赤くなり
七月八月あついころ 三日三晩の土用ぼし
思えばつらいことばかり それもよのため 人のため
しわはよってもわかい氣で 小さい君らのなかま入り
うんどうかいにもついていく
ましていくさのその時は なくてはならぬこのわたし

(フレーベル館だいすきしぜん たべもの5 うめぼし
より抜粋)

広報委員 田島セイ子

編集後記

この春は桜の開花も早まる予想されていたのに気温の変化が激しく、3月下旬に雷雨やヒヨウが降るなど大荒れに荒れました。気候に身体がついていかず体調管理に苦労しましたが、皆様はいかがでしょうか?

今年度の関東・甲信越ブロック研修会は神奈川県で開催されます。実行委員会では着々と準備を進めていますが、会員全員で関ブロを盛り上げていきましょう。

(小野)

ほほえみ 50号

平成28年4月20日

発行 公益社団法人神奈川県介護福祉士会

会長 野上 薫子

横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305

電話 045(319)6687 FAX 045(222)6676

E-mail:info@kanagawa-accw.org

印刷 吾妻印刷株式会社 電話 045(730)5161